

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成26年(2014) 7月10日
No. 79
発行 高津啓洋

房総支部でポット苗の鉢上げと旭市訪問

7月2日、房総支部で高津代表を中心に行われた2件に付き報告致します。

①鉢上げ作業(箱に蒔き10Cm~15



Cmに育ったドングリの幼苗木を、ポットに移し替える作業) 鉢上げ作業を千葉県大網白里市の稲邑(け



い)氏の畑で行いました。

参加者：高津代表、戸石事務局長、堀本氏、中村さん、稲邑氏、工藤さんと大滝です。

3月3日ドングリ約300個を蒔きました。今回は発芽率約60%(昨年秋に拾った物で古かった為)と、発芽率が低かったと思われる。

ポット用の土：約20%、砂：約10%、畑の土：約70%混ぜ合わせた土を用いて移植しました。

作業前に高津代表の指導を受けて、作業をし



した。10cm前後に育った苗をポットに植え替えて。ポットの土の乾燥を防ぐためたっぷり藁を掛け、更に水をたっぷり掛けました。全部で184鉢になりました。高津代表の指導を受け、作業は正味1時間半程で完了しました。

初めての鉢上げ作業を行った参加者は大変感動していました。

②旭市訪問 房総半島九十九里海岸北端に位置し、3.11東日本大震災で15人が亡くなり、天皇皇后陛下のお見舞いを最初に受けた町が旭市です。

市役所を訪問し被災地及び防潮堤工事現場を視察今後の計画に付いて、市役所の担当者の方と話し合う事が出来たので概要を報告致します。

参加者：高津代表、戸石事務局長、堀本氏、中村さん、工藤さんと大滝です。

昨年3月14日大滝が旭市役所を訪問し、市役所職員の案内で、被災現場を視察していたが、その時と比べると防潮堤工事などが急ピッチに進行していました。3・11当時天然の防潮堤が在った処は津波の被害を免れており、防潮堤の効果と必要性は理解しておられました。今後最も被害が大きかった沿岸の防潮堤工事約6Kmの計画はこれからとの事でした。今回は、植樹して約1年半経過した防潮堤約2年経過した防潮堤の視察との



ことでしたが、土の関係か生育具合が相当違っていました。その後市役所に戻り、今後のことについて話し合いを持ちました。(大滝)

タブの木の実を拾おう

7月はタブの木の種を拾うには最適です。今年フォレストニュースの夏号は、タブの木を特集しています。今年拾い忘れた方は、タブの木を目印しておき、来年拾いましょう。東京では浜離宮恩賜公園が最高です。10月になるとどんぐり拾いの季節となりまね。